

一部 歯冠修復

ワックスアップ進化論 ～ペリカンテクニックその理論と実際～



1995年に月刊歯科技工にペリカンテクニックを
発表して私は火を使うのを止めて17年が経った
こととなります。若い歯科技工士の人はまだ見た
ことが無いかも知れません。歯科鑄造が始まって
以来ほぼ100年の間火炎によるワックスアップ
は初めて身につける手技として未だに主流を占
めてます。クラウンからデンチャーまでペリカン
の使用感やそのメカニズムをお伝えしながら開

発に至った経過なども参考にして頂ければと思います。それは日常の技工作業へのシン
プルの疑問や上手くない・苦手感や問題を感じる人こそ、新しいアイデアが生まれ
るチャンスになると思うから…です。ワックスアップという基本的な操作へ一石を投
じてみたいと思います。

ポーセレンの築盛法～インサイザルコアテクニックについて～

1986年に月刊歯科技工にインサイザルコアテクニックを発表してから、私自身ポーセレン
の正確な築盛はこれも日常的に行っているテクニックです。現在では雑誌でも切縁のコア
を採得して築盛を行う論文も散見されるようになりました。初心者からベテランにも明日
から使えるその理論とテクニックをご紹介します。ぜひ読んでみたいと思います。

二部 教養

歯科技工業界の本格的・夜明けの為に

～技工業界がこれまで何故夜が明けなかったのか？明るい夜明けが来る為の処
方とは～

－入れ歯作り 歯科医療の構造問題の解明と夜明けのための新処方箋－

床屋の10分1000円のカットがあちこちで見られますが、インレーを一本60分か
けて1000円で作っていると…ここに業界を超えた技術評価の良いか悪いかの現
状が垣間見られます。今年2012年は歯科技工士の記録上初めて行動が記された日本歯
科技術師に関する請願書を入れ歯細工職46名によって衆議院に提出（1912年（明治
45年））されてちょうど100年になります。私が技工経済の問題が単なる過当競争で済
まされず構造問題であることに私が気が付いたのが10年余り前でした。今日は1000
円カットと1000円インレーの違いが何故起きて来たのか？歯科補綴物のトレーサビリ
ティーの意義から、どうすれば適切な技工技術の評価を勝ち取れるか！を一緒に考え明る
い未来への方向性を明示してみたいと思います。